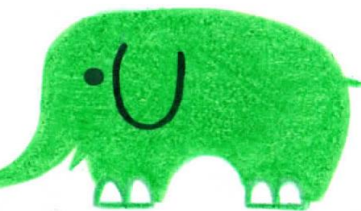


ぱおぱお ニュース



< 病気の豆知識 >

今月は… 『RSウイルス』『夏風邪』です

6月頃より、いろいろな感染症が増えており、中でもRSウイルスと夏風邪の症状が目立ちます。

< RSウイルス >

身近なウイルスのため、ほとんどの子どもが2歳までに一度は感染するといわれています。大きくなると軽い鼻かぜ程度でおさまりますが、乳幼児期や小さく生まれたお子さんなどは、重症化しやすいので注意が必要です。



発熱、咳、鼻水などの風邪症状で始まりますが、次第に痰が絡み、咳がひどくなり、ゼイゼイと苦しそうな呼吸になってきます。

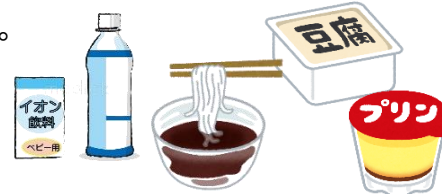
ゼイゼイ・ヒューヒューの音が強く、息苦しそうで、胸やお腹をペコペコさせて息をしている、顔色がよくない、母乳やミルクの飲みが悪いなどの場合は、夜間であっても受診しましょう。吸入が必要な場合には吸入器の貸し出しもしています。

< 夏風邪 >

夏風邪と呼ばれる感染症のうち、最も多く見られるものは、手足口病やヘルパンギーナです。いずれも主にコクサッキーウイルスが原因なのですが、症状の出方が少し異なります。以前かかったことがあってもまたかかることもあります。今シーズンはヘルパンギーナが流行っています。

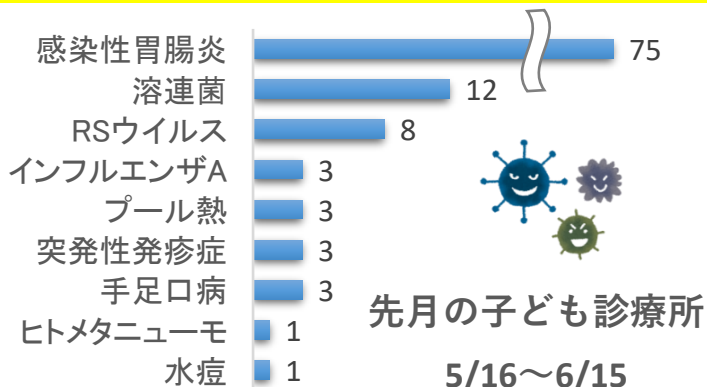


どちらの場合も口内炎の痛みのため、食欲が落ちるお子さんも多いです。特効薬はなく、安静を保って自然に治るのを待ちます。高熱の場合は特に、脱水にならないように注意が必要です。



刺激になりにくい、のど越しの良いものを与えましょう。柔らかい物(うどん、そうめん、おかゆ)や、水分の多い物(豆腐、プリン、ゼリーなど)は食べやすいようです。水分も飲めない時は、脱水にならないよう、少量ずつ頻回に与えてください。

< 感染症情報 >



子ども診療所では…

- ・様々な感染症が出ています。
- ・咳症状が多く、吸入器の貸し出しが目立ちます。
- ・インフルエンザは落ち着いてきたようです。
- ・コロナウイルスもちらほら出ています。

病児保育室ぱおぱおでは…

- ・夏風邪症状が目立ち、混み合っています。
- ・高熱、咳、鼻水、のどの痛みがあるお子さんが多く入室していました。

< 子どもの水の事故を防ごう！ >

World Drowning Prevention Day 25 July

7月25日は『世界溺水防止デー！』 * 令和3年4月にWHO総会で宣言されました

世界では、毎年推定23万6千人が溺れており、溺死は1歳～24歳までの子どもと若者の死因上位10位以内に入ります。日本では0～1歳では浴槽での溺死、5歳以上では自然水域での溺死が最も多く発生しています。

< 溺水防止の考え方 >

- ・子どもだけで水に近づかない、近づかせない工夫をしましょう。
- ・子どもが水に接する場合、大人は目を離さず手の届く範囲で見守りましょう。
- ・水に関する危険と対処法を学習し、事前の準備をしておきましょう。

ポイント！！

『子どもは静かに溺れる』ということを知っておこう！



溺れる時は、“手足をバタつかせたり、大声をあげたりして騒がしくなるから気付くだろう”というイメージや先入観はないですか？

しかし実際は、声や音も出さずに静かに沈んで溺れていることが、ほとんどだと言われています。子どもは、「自分に何が起きているのか分からない状況」だろうと言います。

< 不慮の事故を防ぐために… >

【家】お風呂では、大人が洗髪のために目を離すことが多いと報告されています。洗髪時は子どもも浴槽から出しましょう。首輪型浮き輪での事故も実際に起きています。目を離す際の使用はやめましょう。わずか5cmの水深でも溺れるとのデータもあります。ビニールプールで浅くても目を離さないのが鉄則です。他、普段から浴槽に水を溜めておかない、洗濯機はチャイルドロックをかけるなどの工夫も必要です。

【レジャー】川や海、プールなどでも、前もって注意点を把握することで、意識づけと対策を行きましょう。

子どもの興味関心・発想は、大人の想像を軽く超えてきます。
“少しの間” “少しの水量” と油断せず、子どもの見守りとともに、
不慮の事故が起こらない環境づくりを行い、楽しい夏を過ごしましょう♪



<スマイルコーナー> 病児保育室での心温まるエピソードなどをご紹介します。

『いつも一緒のお姉ちゃん』

姉妹で入室したお姉ちゃんと妹。泣いている妹が気になって、お姉ちゃんは色々とお世話をしてくれます。妹は朝からゼーゼーしており、吸入の指示がありました。おもちゃを持って音楽を流しながら、何度も名前を呼んでくれました。また、折り紙を始めると妹の分まで折ってプレゼント♪ご飯の時も寝る時も、いつもそばにいてくれました。そんな優しいお姉ちゃんと一緒なので、入室時は不安で泣いていたけれど、いつの間にかニコニコ笑顔♪お姉ちゃんにはかなわない保育士でした。(S)

保育室のご利用には 事前の登録が必要です！



新規ご登録は随時行っております。まずはお気軽にお電話を♪
お問い合わせ 病児保育室ばおばお (月～金 8:30～17:30)
TEL 042-521-2777